

西伊豆産水産物の新たな流通体制構築に向けた取組

—オンライン取引の試行—

令和2年3月19日、県水産振興課と当場は、西伊豆町の伊豆漁業協同組合西伊豆統括支所（以下、漁協）荷捌き所にて「オンライン取引」試験を実施しました。本取組におけるオンライン取引とは、ビデオ通話アプリを利用し、漁協荷捌き所に並べられた魚の映像を静岡中央卸売市場事務所内のモニターで流し、市場関係者の方々に映像を見てセリをしてもらうというものです。但し、今回は実際にセリは行わず、映像の鮮明さや、目利きが可能かどうか市場関係者の方々に評価してもらうことを目的としました。

市場関係者の方々の感想を聞くと、市場のモニターに映し出された映像は比較的良好であったが魚体の大きさがわかりにくい、映像の魚を実際に送ってもらい映像と実物を比べる必要がある、といったご指摘をいただきました。まだ課題は多いですが、オンライン取引が実用化されれば、伊豆地域の水産物の流通の効率化や販路拡大に繋がるのが期待されますので、県水産振興課と当場は、漁協、漁業者、市場関係者の方々と連携を図りながら、引き続き本取組を進めていきたいと思っております。



漁協荷捌き所でのオンライン取引試験の様子

(鈴木勇己)